

平成24年度秋の叙勲受章者

11月3日に叙勲受章者が発表され、以下の会員が榮に浴されました。
心よりお慶び申し上げます。

叙勲者の横顔



旭日小綬章（弁理士業務功労）

きの した じつ ぞう
木 下 實 三

学歴・職歴

新潟大学工学部 卒業
(現在) (業)樹之下知的財産事務所

弁理士会暦

昭和49年 弁理士登録(7908号)
昭和52年～53年 意匠委員会 副委員長
昭和53年～55年 弁理士会常議員
昭和56年～57年 特許制度運用協議委員会 副委員長
昭和57年～58年 特許制度昂揚普及委員会 委員長
昭和60年～61年 弁理士会理事(副会長)
平成2年～3年 企画委員会 副委員長
平成3年～4年 特許委員会 副委員長
平成7年～9年 弁理士会常議員
平成7年～8年 弁理士会常議員会 副議長
平成7年～8年 常議員会監査委員会 副委員長
平成7年～8年 常議員会調整委員会 副委員長
平成8年～9年 常議員会監査委員会 委員
平成8年～9年 常議員会調整委員会 委員
平成10年～11年 総合政策検討委員会 副委員長
平成12年～13年 司法制度対策委員会 副委員長
平成13年～14年 弁理士倫理委員会 副委員長
平成14年～15年 弁理士倫理委員会 委員長
平成15年～16年 日本弁理士会 副会長(総括副会長)
平成16年～17年 日本弁理士会 会長
平成16年～17年 登録審査会 会長
平成20年～22年 中央知的財産研究所 所長

公職

平成17年2月～平成18年2月 産業構造審議会臨時委員(知的財産政策部会)
平成19年12月～平成20年11月 工業所有権審議会臨時委員
平成20年12月～平成21年11月 工業所有権審議会臨時委員

懇談会

平成4年4月～5年3月 制度問題懇談会 委員
平成5年4月～6年3月 制度問題懇談会 委員長
平成6年4月～7年3月 制度問題懇談会 委員

賞

平成1年 弁理士制度90周年記念式典特別功労者表彰

平成 10 年 弁理士会特別功労者表彰
平成 11 年 弁理士制度 100 周年記念式典特別功労者表彰
平成 17 年 日本弁理士会永年功労者表彰
平成 17 年 日本弁理士会特別功労者表彰
平成 18 年 日本弁理士会感謝状
平成 18 年 日本弁理士会特別功労者表彰
平成 19 年 日本弁理士会特別功労者表彰
平成 21 年 日本弁理士会感謝状
平成 21 年 弁理士制度 110 周年記念式典特別功労者表彰
平成 22 年 日本弁理士会感謝状

受章に浴して

この度、図らずも平成 24 年秋の叙勲の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と深く感謝しております。

受賞にあたり、日本弁理士会をはじめ、関係諸団体や多くの皆様からご丁寧な祝意を戴きましたこと、大変有り難く、お礼申し上げます。

昭和 49 年（1974 年）の弁理士登録以来、弁理士業務に励んで参りましたが、それを遡ること 2 年、昭和 47 年に、大学の先輩である故樺澤義治先生が業界のことを何も分からなかった私を、樺澤特許事務所に採用して戴いたことが、この業界に入れたきっかけでした。その後、受験ゼミ、会務、会派活動を通して、さらには、事務所の所員の方々など、多くのご厚誼を戴き、育てて戴いたことと、両親が健康な身体に生み、育ててくれたことが、今日の栄に繋がっているものと、心から感謝しております。

これからもいろんな方々とのご縁を大切にし、今回の受章を機に、私を育ててくれた業界に、今後、いささかなりともご恩返しをできればと考えております。

皆様方からの相変わらずのご指導、ご厚誼をよろしくお願い申し上げます。



旭日双光章 (弁理士業務功労)

まつ お けんいちろう
松 尾 憲一郎

学歴・職歴

昭和 41 年 九州大学法学部 卒業
(現在) 松尾特許事務所

弁理士会歴

昭和 50 年 弁理士登録 (8016 号)
昭和 58 年～59 年 九州地方委員会 副委員長
平成 6 年～7 年 情報資料委員会 副委員長
平成 8 年～9 年 常議員会第一委員会 委員
平成 8 年～10 年 弁理士会常議員
平成 9 年～10 年 常議員会監査委員会 委員
平成 11 年～12 年 九州部会 部会長
平成 12 年～13 年 九州部会 副部会長
平成 14 年～15 年 弁理士法改正特別委員会 副委員長
平成 15 年 発明の日シンポジウム実行委員会 副委員長
平成 15 年～16 年 日本弁理士会 副会長
平成 16 年～17 年 九州部会 副部会長
平成 16 年～17 年 日本弁理士会 執行補佐役
平成 16 年～17 年 九州支部設立準備委員会 副委員長
平成 17 年～18 年 対外協力事業推進委員会 副委員長
平成 17 年～18 年 日本弁理士会 執行補佐役
平成 17 年～18 年 九州支部 支部監査役
平成 18 年～19 年 九州支部 副支部長
平成 21 年～22 年 産業競争力推進委員会 副委員長
平成 22 年～24 年 日本弁理士会常議員
平成 22 年～23 年 常議員会調整委員会 委員
平成 22 年～23 年 常議員会第三委員会 副委員長
平成 23 年～24 年 常議員会第一委員会 委員
平成 24 年 九州支部 支部長

公 職

平成 17 年 12 月～18 年 11 月 工業所有権審議会臨時委員
平成 18 年 12 月～19 年 11 月 工業所有権審議会臨時委員

賞

平成 10 年 5 月 弁理士会特別功労者表彰
平成 16 年 7 月 日本弁理士会特別功労者表彰
平成 17 年 7 月 日本弁理士会永年功労者表彰
平成 18 年 7 月 日本弁理士会特別功労者表彰
平成 20 年 4 月 産業財産権制度関係功労者表彰 (特許庁長官表彰)
平成 20 年 7 月 日本弁理士会感謝状
平成 21 年 7 月 弁理士制度 110 周年記念式典特別功労者表彰

受賞に浴して

このたびは、囿らずも叙勲の榮に浴し身に余る光榮に存じます。これも、良き弁理士仲間と友人、関係者の皆様からの長きにわたる支援の賜物であると心より感謝申し上げます。

振り返りますと、九州の地で特許事務所を開業し、その後、東京、名古屋、大阪の企業とのおつきあいで企業の知的財産業務に係ってまいりましたことは、私の知的財産分野において大きな展望を開眼した要因であります。これらの関係者の皆様には感謝し切れない思いです。

お陰で日本の知的財産の縮図を体験することができましたし、これからの海外での知的財産戦略に大きな武器となっていくことと存じます。

特に、このような活動の最中であって、大阪の旧知の弁理士先生方より励ましとご指導を頂きました事は私の宝となっております。

その間に、日本弁理士会において副会長の要職を経験し、会の深層を垣間見ることができたのも貴重な体験となりました。

この経験を可能な限り九州支部活動に反映させることができれば望外の幸せです。

これからは九州の地にあって後輩弁理士の育成及び九州の知的財産の活性化にいささかでも尽力できることをモットーにしていきたいと思っています。

今後ともどうぞ皆様のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。



旭日双光章 (弁理士業務功労)

かん ばら さだ あき
神 原 貞 昭

学歴・職歴

昭和 41 年 3 月 東京都立大学工学部 卒業
(現在) 神原特許事務所

弁理士会暦

昭和 53 年 弁理士登録 (8390 号)

昭和 59 年～60 年 特許事務報酬制度委員会 副委員長

昭和 61 年～62 年 ペーパーレス問題対策委員会 副委員長

昭和 62 年～平成 1 年 弁理士会常議員

昭和 62 年～63 年 ペーパーレス問題対策委員会 副委員長

昭和 62 年 特許公報類廃棄検討委員会 副委員長

昭和 63 年～平成 1 年 ペーパーレス問題対策委員会 副委員長

昭和 63 年～平成 1 年 弁理士会業務機械化委員会 副委員長

平成 1 年～ 2 年 ペーパーレス問題対策委員会 委員長

平成 2 年～ 3 年 ペーパーレス問題対策委員会 委員長

平成 2 年～ 3 年 電子出願制度推進協議委員会 副委員長

平成 4 年～ 5 年 総合政策推進機構 副委員長

平成 4 年 厚生年金基金設立準備委員会 副委員長

平成 5 年～ 6 年 方式事項検討委員会 委員長

平成 5 年～ 6 年 日米実務協議委員会 副委員長

平成 6 年～ 7 年 総務委員会 副委員長

平成 7 年～ 8 年 弁理士会理事 (副会長)

平成 8 年～10 年 中央知的財産研究所 副所長

平成 8 年～ 9 年 特許委員会 委員長

平成 9 年～10 年 「弁理士業務の実態及び意識調査」支援委員会 副委員長

平成 10 年～11 年 弁理士法改正特別委員会 副委員長

平成 10 年～11 年 国際活動委員会 副委員長

平成 10 年～12 年 中央知的財産研究所 副所長

平成 11 年～12 年 弁理士法改正特別委員会 副委員長

平成 12 年～14 年 弁理士会常議員

平成 12 年～13 年 司法制度対策委員会 副委員長

平成 12 年～13 年 常議員会調整委員会 委員

平成 12 年～13 年 弁理士法改正特別委員会 委員長

平成 13 年～14 年 常議員会第二委員会 委員

平成 13 年～14 年 弁理士法改正特別委員会 委員長

平成 14 年～15 年 緊急課題対応特別委員会 副委員長

平成 14 年～15 年 日本弁理士会執行補佐役

平成 17 年～18 年 知的財産政策推進本部 副委員長

平成 17 年～18 年 弁理士法改正特別委員会 委員長

平成 17 年～18 年 関東支部設立準備委員会 副委員長

平成 18 年～19 年 関東支部 副支部長

平成 18 年～19 年 弁理士法改正特別委員会 委員長

平成 19 年～20 年 弁理士法改正特別委員会 委員長

平成 19 年～20 年 関東支部 副支部長

平成 20 年～21 年 知的財産政策推進本部 委員長

平成 20 年～21 年 関東支部 副支部長

	平成 21 年～ 22 年	関東支部 副支部長
	平成 21 年～ 22 年	弁理士試験制度検討委員会 委員長
	平成 22 年～ 23 年	弁理士試験制度検討委員会 委員長
	平成 22 年～ 23 年	関東支部 副支部長
	平成 23 年～ 24 年	関東支部 副支部長
公 職	平成 1 年 9 月～ 3 年 9 月	工業所有権審議会委員
	平成 11 年 9 月～ 13 年 6 月	司法制度改革審議会事務局調査嘱託
	平成 14 年 1 月～ 16 年 11 月	司法制度改革推進本部事務局調査嘱託
	平成 16 年 4 月～現在	裁判所専門委員
	平成 18 年 4 月～ 19 年 4 月	産業構造審議会臨時委員 (知的財産政策部会弁理士制度小委員会)
懇談会	平成 4 年 4 月～ 5 年 3 月	弁理士会と特技懇との懇談会 委員長
	平成 10 年 2 月～ 3 月	司法制度特別懇談会 委員
賞	平成 3 年	弁理士会特別功労者表彰
	平成 4 年	弁理士会感謝状
	平成 6 年	弁理士会特別功労者表彰
	平成 8 年	弁理士会特別功労者表彰
	平成 11 年	弁理士会特別功労者表彰
	平成 11 年	弁理士制度 100 周年記念式典特別功労者表彰
	平成 14 年	日本弁理士会特別功労者表彰
	平成 15 年	産業財産権制度関係功労者表彰 (経済産業大臣表彰)
	平成 15 年	日本弁理士会永年功労者表彰
	平成 18 年	日本弁理士会特別功労者表彰
	平成 20 年	日本弁理士会感謝状
	平成 20 年	日本弁理士会特別功労者表彰
	平成 22 年	日本弁理士会特別功労者表彰
受章に浴して	<p>平成 24 年秋の叙勲に際しまして、はからずもその榮に浴し、わが身に過ぎたる榮譽に恐縮いたしております。これも偏に、日本弁理士会の方々、特許庁の方々、日頃お付合いをいただいている弁理士の方々を始め、多くの関係者の皆様のお力添えによるものと、心より感謝申し上げます。</p> <p>また、受章にあたりましては、多方面に亙る皆様からご丁寧なる祝意を賜りまして、誠にありがとうございました。</p> <p>昭和 53 年 (1978 年) の弁理士登録から此の方、弁理士業務に励んでまいりましたが、それと共に、日本弁理士会におきましては、主に、特許庁に対する電子手続システムの検討、国際活動関係、司法制度改革関連、弁理士法改正等々に関わらせていただきました。これらを通じましては、各場面々々で種々勉強をさせていただきつつ、果たすべき役割はそれなりに果たすことができたものと考えております。</p> <p>国際社会にあっては知的財産の重要性がますます高まっていくなかで、知的財産権に関する国際間での問題処理等に、これからの弁理士諸氏が目覚しく活躍されますことを期待いたしますとともに、自分も微力ながら尽力する所存です。</p> <p>今後とも、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。</p>	



瑞宝小綬章 (通産行政事務功労)

ひらのまさのり
平野 雅典

学歴・職歴

昭和 41 年 3 月 電気通信大学電気通信学部電波工学科 卒業
昭和 41 年 4 月 特許庁入庁 審査第四部電子応用
昭和 45 年 4 月～50 年 3 月 審査官 審査第五部情報処理
昭和 50 年 4 月～51 年 3 月 通商産業省 工業技術院出向
(大プロ パターン情報処理システム)
昭和 51 年 4 月～53 年 9 月 審査官 審査第五部情報処理
昭和 53 年 10 月～55 年 3 月 審査官 審査第五部通信
昭和 55 年 4 月 審判部審判官
昭和 62 年 4 月 上席総括審査官 審査第五部通信
昭和 63 年 4 月 審査長 審査第五部通信
平成 2 年 10 月 審判長 審判部第 12 部門 (情報処理)
平成 5 年 10 月 部門長 審判部第 29 部門 (通信)
平成 6 年 7 月 特許庁退官
平成 6 年 7 月 岡田特許事務所入所
平成 7 年 12 月～16 年 12 月 エンテック特許事務所入所
(現在) 平野特許事務所

弁理士会暦

平成 6 年 7 月 弁理士登録 (10548 号)

受章に浴して

このたび特許庁から平成 24 年秋の叙勲者に推挙されその栄に浴することとなりました。誠に身に余る思いで一杯です。この栄誉は一重に諸先輩をはじめ、同僚の皆様方のご指導、ご鞭撻の賜物であると深く感謝しています。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

またこの栄誉を受けるにあたり、弁理士会の方々をはじめ多くの方々から丁寧なる祝意を頂戴しましたこと、大変に有り難く重ねて御礼申し上げます。

顧みますと、知的財産の仕事にかくも長きに渡り、身を置くことができたものと我ながら驚くばかりです。入庁の頃は三年町のレンガ造り建屋の 4 階に身をおき、昼は庁内で卓球をやり、またスポーツ大会があれば大蔵省裏のグラウンドでソフトボールに興じて過ごした思い出が今でも鮮明に蘇ってきます。お蔭さまでさしたる病気もせずに毎日を過ごさせて戴いています。

これからも健康第一に特許制度の益々の発展のために微力を注ぐつもりです。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。